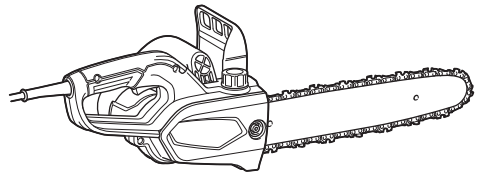


Makita

取扱説明書

250/300/350 mm 電気チェーンソー

☐ モデル M502/M503/M504



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは250/300/350 mm電気チェーンソーをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ チェンソー安全上のご注意	10
・ 各部の名称	12
・ 別販売品のご紹介	13
・ ご使用前の準備	14
・ チェーン刃について	14
・ チェーンオイルについて	19
・ 使い方	20
・ スイッチの操作	20
・ 本製品の持ち運び	20
・ 切断方法	21
・ 樹木のせん定	23
・ 基本的な作業	24
・ 各種の切断作業例	24
・ 保守・点検について	27
・ 上刃および横刃の目立て	27
・ デプスゲージの調整方法	28
・ ガイドバーの清掃	28
・ スプロケットカバーの清掃	29
・ チェーンオイル吐出口の清掃	29
・ スプロケット摩耗点検	29
・ 本製品の保管方法	30
・ 本製品のお手入れ	30
・ ご修理の際は	30

主要機能





主要機能		モデル	M502	M503	M504
区分	項目	単位			
動力	電動機	—	直巻整流子電動機		
	電圧 (単相交流)	V	100		
	電流	A	8.1		
	周波数	Hz	50-60		
	消費電力	W	770		
チェーン オイル	使用オイル		マキタ純正チェーンオイル		
	タンク容量	mL	100		
	給油方式		自動		
切断部	チェーン刃 スピード	m/s	7.0		
	チェーン 刃形式		90PX		
	チェーン ゲージ	mm	1.1		
	チェーン ピッチ	inch	3/8		
	鋸身長 (切断有効長さ)	mm	235	300	350
	推奨ガイド バー長さ	mm	250 ~ 350		
寸法 (W × H × L)	mm	182 × 175 × 515	182 × 175 × 568	182 × 175 × 621	
振動 3 軸合成値	m/s ²	3.2			
標準付属品		チェーンオイル 100 mL 六角棒スパナ 5 (本製品収納) ガイドバーケース			

- 振動 3 軸合成値は、EN60745-2-13 規格に基づき測定。
- 振動 3 軸合成値についての詳細は JEMA [(社) 日本電機工業会] ウェブサイト：<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html> をご参照ください。
- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

- | | |
|---|--|
|  警告 | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。 |
|  注意 | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。 |
|  注 | : 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。 |

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときには、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ 発火や爆発の原因になります。
7. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 電動工具から離れるとき
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 電源コードは定期的な点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的な点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
10. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - ・ 理解せずに使用することは危険です。
11. 子供や本製品の操作を理解していない方には使用させないでください。
 - ・ けがの原因になります。
12. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

⚠ 警告

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - 本製品を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

 - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - 電源コードに深いキズや変形がある。
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - 焦げくさい臭いがする。
 - ビリビリと電気を感じる。
 - スwitchを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - 感電の恐れがあります。

⚠ 警告

5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- ・ 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、チェーンソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. チェンソーを雨中や湿気の多い所で使用したり、放置しないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
3. 使用中は、両手で確実にハンドルを保持してください。
 - ・ 本製品がはね返り、けがの原因となります。
4. チェーン刃は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。
 - ・ 誤った取り付け方をしますと、ガイドバーからチェーン刃がはずれ、けがの原因になります。
5. はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
6. 肩の高さより高い位置で使用しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
7. ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。
 - ・ 本製品がはね返り（キックバック）けがの原因になります。
8. 使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
9. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
10. 誤って落としたり、ぶつけたときは、チェーン刃、ガイドバーや本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
11. 作業中は常に手袋、保護メガネ、耳栓、チェーンソー用防護ズボンを着用し、履き物は滑りにくい物を着用してください。
 - ・ けがの原因になります。

[事業者の方へ]

樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行う場合は、法、規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

(関連法令)

労働安全衛生法第59条第3項

安全衛生特別教育規程第10条※

労働安全衛生規則第36条第8号※

※ただし、2020年7月30日までは安全衛生特別教育規程は第10条の2、労働安全衛生規則は第36条第8号および8号の2となります。

⚠ 注意

1. 使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
2. 使用しないときは、チェーンカバーをし、刃物がむき出しにならないようにして、お子様の手の届かない所に保管してください。
 - ・ けがの原因になります。
3. スイッチを入れるとき、チェーン刃が材料やほかのものに当たっていないことを確認してください。
 - ・ 本製品が引っ張られたり戻されたりして、けがの原因になります。
4. 材料に石、釘などの異物がないことを確かめてください。
 - ・ 刃物が石などに当たると、けがの原因になります。
5. 切断材料は、しっかり固定してください。また切り落とし材に十分注意してください。
 - ・ けがの原因になります。
6. 切り落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料に挟み込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
 - ・ ガイドバーが挟みつけられると、けがの原因になります。

注

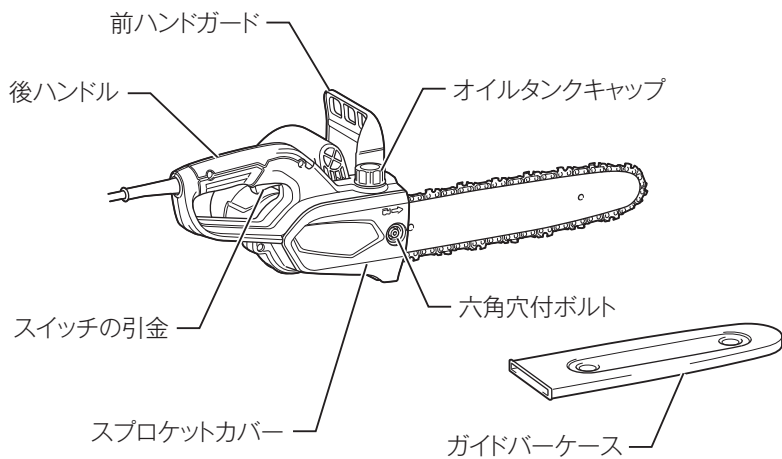
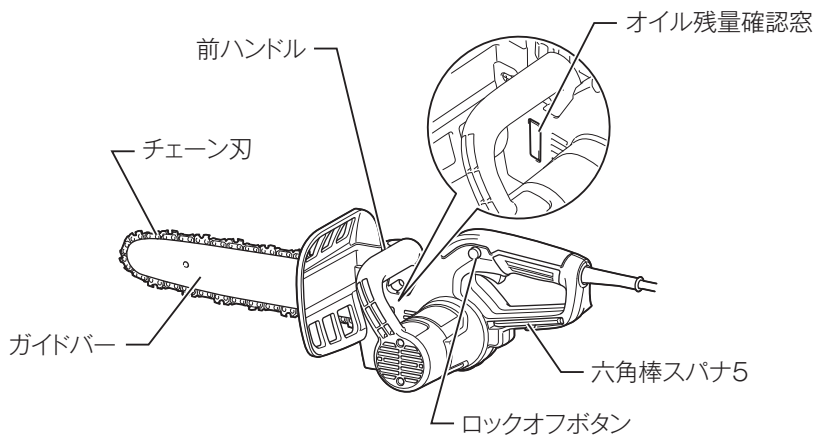
- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と長さの目安

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

- ・ 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称



別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ チェーン刃
 - M502：
90PX-40E
部品番号：A-65648
 - M503：
90PX-46E
部品番号：A-65654
 - M504：
90PX-52E
部品番号：A-65660
- ・ ガイドバー
 - M502：
部品番号：161585-2
 - M503：
部品番号：161586-0
 - M504：
部品番号：161587-8
- ・ フェイスシールド
 - 部品番号：A-13742
- ・ チェーンオイル（1 L）
部品番号：A-58300

ご使用前の準備

チェーン刃について

⚠ 警告

チェーン刃の取り付け、取りはずしおよび調整の際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、不意にチェーン刃が回りだしたときに、事故の原因になります。

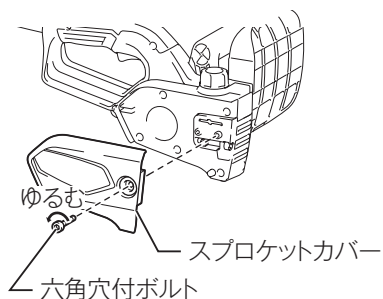
⚠ 注意

チェーン刃の取り付け、取りはずしおよび調整の際は、必ず手袋をはめて行ってください。

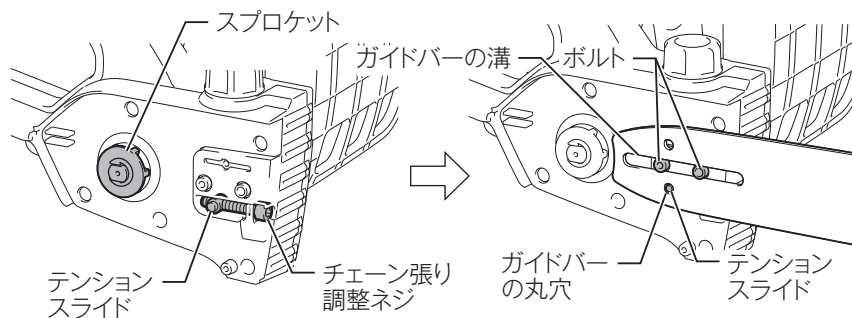
- ・ けがの原因になります。

チェーン刃の取り付け方

1. 六角棒スパナ5でスプロケットカバーの六角穴付ボルトをはずし、スプロケットカバーを取りはずします。

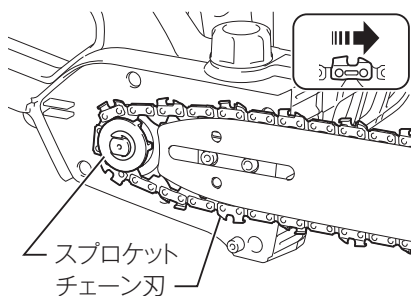


2. ガイドバーを本製品にセットします。
このときにガイドバーの溝と本製品のボルト、ガイドバーの丸穴とテンションスライドのそれぞれを合わせて取り付けてください。



ご使用前の準備

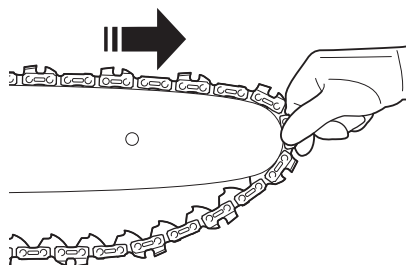
3. 刃の向きに注意して、チェーン刃をスプロケットにかけ、スプロケット側からガイドバー先端に向かって順にガイドバーの溝にチェーン刃をセットします。



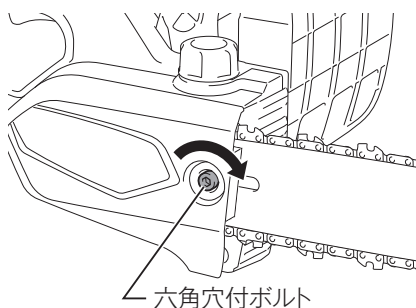
注

- 交換するチェーン刃は 90PX タイプを使用してください。

4. ガイドバー先端付近のチェーン刃は図のように矢印方向に引っ張ってセットしてください。

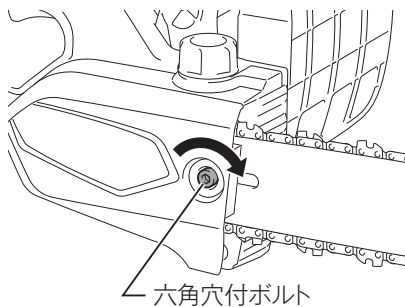


5. スプロケットカバーと本製品を、六角穴付ボルトで手ではずせる程度に仮締めします。
6. チェーン刃の張りを調整します。チェーン刃の調整の詳細はチェーン刃の調整の項目 (P.18) を参照してください。



ご使用前の準備

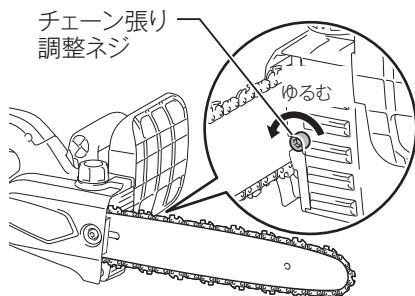
- 調整が終わったら、ガイドバーの先端部側を持ち上げながら、六角穴付ボルトをしっかりと締め付けます。



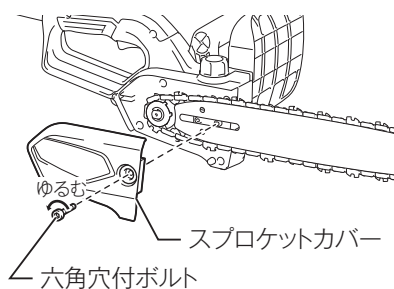
ご使用前の準備

チェーン刃の取りはずし方

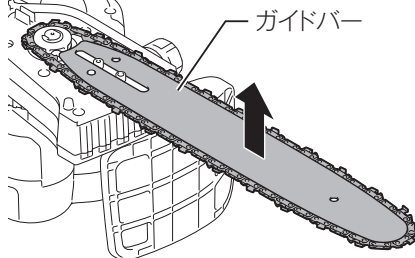
1. 六角棒スパナ5でチェーン張り調整ネジを回し、チェーンの張りをゆるめます。



2. 六角棒スパナ5でスプロケットカバーの六角穴付ボルトをはずし、スプロケットカバーを取りはずします。



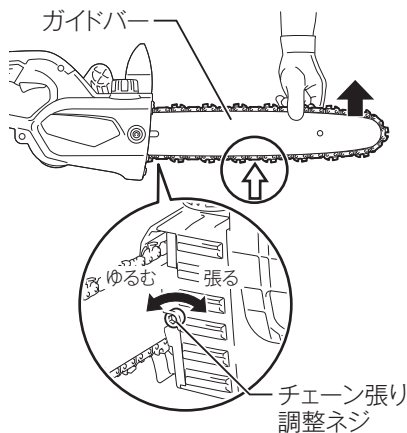
3. チェーン刃とガイドバーを持ち上げ、本製品より取りはずします。



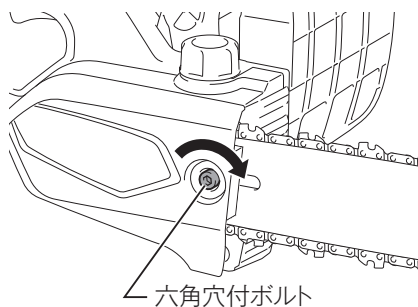
ご使用前の準備

チェーン刃の調整

1. 六角棒スパナ5でスプロケットカバーの六角穴付ボルトを少しゆるめます。
2. ガイドバー先端部を軽く持ち上げた状態で、チェーン張り調整ネジを六角棒スパナ5で回して、チェーン刃のカッタ底面がガイドバーに軽く触れるまで張りを調整します。
※チェーン張り調整ネジ
 - ・ 右に回すとチェーン刃が張る。
 - ・ 左に回すとチェーン刃がゆるむ。



3. ガイドバーの先端部側を軽く持ち上げた状態で、スプロケットカバーの六角穴付ボルトを六角棒スパナ5でしっかり締め付けます。



4. 以下の点を確認します。
 - ・ チェーン刃にたるみがないこと。
 - ・ ガイドバーの中央付近でチェーン刃を軽く持ち上げたときに、チェーン刃のカッタ底面とガイドバーの間にすきまがあること。

注

- ・ チェーン刃が新しいときは伸びやすいため、調整してください。
- ・ チェーン刃の張りすぎは、チェーン刃の切断、ガイドバーの摩耗などの原因になります。
- ・ 張り方がゆるいときは、チェーン刃がガイドバーからはずれる原因となります。
- ・ チェーン刃の取り付け、取りはずしの際は、切りくずなどのないきれいな場所で行ってください。

ご使用前の準備

チェーンオイルについて

⚠ 警告

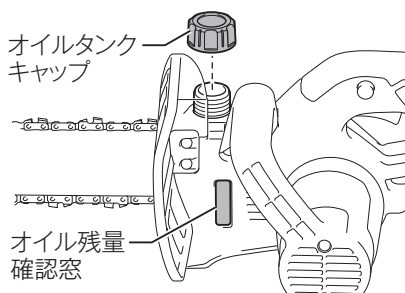
チェーンオイルの給油を行う際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、不意にチェーン刃が回りだしたときに、事故の原因になります。

- ・ チェーンオイルは本製品を運転すると自動的に給油されます。
- ・ オイル残量確認窓にてオイルタンク内のチェーンオイル量を確認してください。

チェーンオイルの給油

1. オイルタンクキャップが上になるように本製品を平らな場所に置き、オイルタンクキャップをはずしてください。
2. 入れすぎてこぼさないように注意して、チェーンオイルを給油してください。容量は約 100 mL です。給油が終わりましたら、オイルタンクキャップをしっかり締めてください。



注

- ・ はじめてお使いになるときは、チェーンオイルをオイルタンク一杯に入れてください。
- ・ チェーンオイルは、マキタ純正チェーンオイルまたは市販の専用チェーンオイルをお使いください。
- ・ ゴミなどの混入したオイルおよび揮発性のオイルは絶対使用しないでください。

使い方

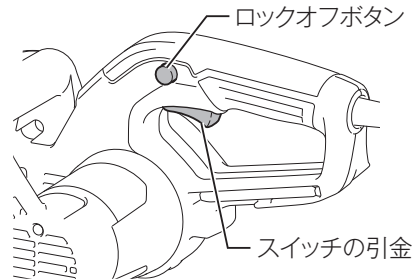
スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。

- ・ スイッチはロックオフボタンを押した状態で引金を引くと入り、放すと切れます。スイッチの引金を放すと自動的にロックオフ機構が働き、スイッチが入らない状態になります。

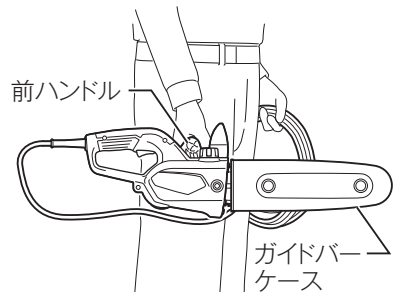


注

- ・ スイッチ操作に際し、ロックオフボタンを押さずにスイッチの引金を強く引かないでください。

本製品の持ち運び

- ・ 本製品を持ち運ぶときは、ガイドバーケースをガイドバーにかぶせ、前ハンドルを持って運んでください。



使い方

切断方法

⚠ 警告

使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。

- ・ けがの原因になります。

使用中は、両手で確実にハンドルを保持してください。

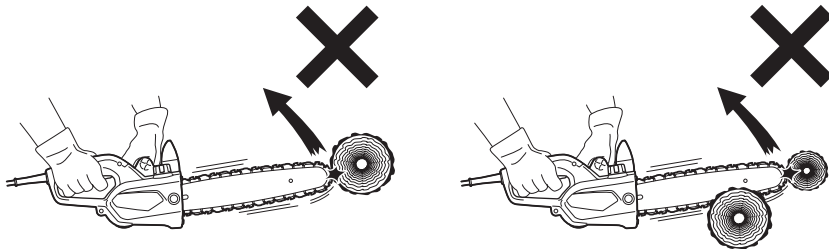
- ・ けがの原因になります。

はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。

- ・ けがの原因になります。

ガイドバーの先端部での、切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないよう作業してください。

- ・ 本製品がはね返り（キックバック）、けがの原因になります。



[事業者の方へ]

樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行う場合は、法、規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

(関連法令)

労働安全衛生法第 59 条第 3 項

安全衛生特別教育規程第 10 条※

労働安全衛生規則第 36 条第 8 号※

※ただし、2020 年 7 月 30 日までは安全衛生特別教育規程は第 10 条の 2、労働安全衛生規則は第 36 条第 8 号および 8 号の 2 となります。

使い方

⚠ 注意

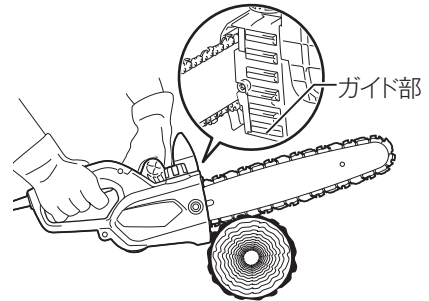
切断材料は、しっかり固定してください。また切り落とし材に十分注意してください。

- ・ けがの原因になります。

2台以上で作業するときは、安全な距離をおいてください。

- ・ 事故の原因になります。

- ・ チェーン刃を木材より離してスイッチを入れ、チェーンオイルが十分にチェーン刃に付着してから切断作業に入ってください。
- ・ 本製品を木材に当てて、そのまま真下へ押して切断してください。
- ・ 本製品前部のガイド部を木材に当てて切断すると、本製品が安定します。



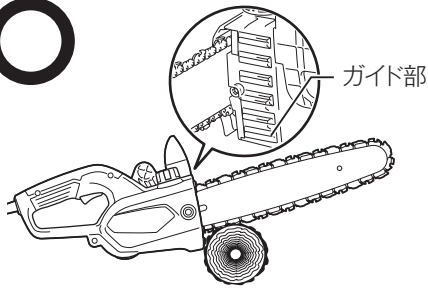
注

- ・ 本製品の自重で切断するとスムーズに早く作業が行えます。押しつけて切断した場合、刃物が止まることがありますのでご注意ください。

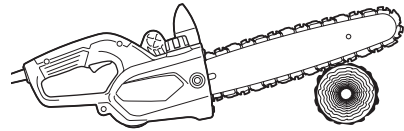
使い方

樹木のせん定

- ガイド部を枝に軽く押しつけ、チェーン刃を枝より離してスイッチを入れ枝を切断します。



本製品は前方へ押し出されます。



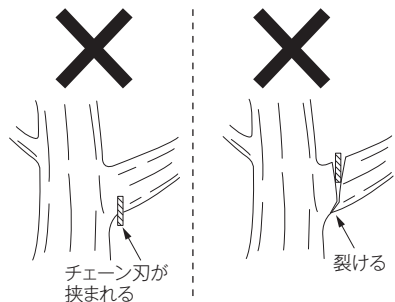
注

- ガイド部に枝が接していないと本製品がガイド側に引っ張られ、刃先がブレますので注意してください。
- 太い枝をせん定するときは、枝の下側に切り込みを入れてから上から枝を切断します。



注

- 枝を下側から切り上げていきますと、枝の重みで切り口が狭まり、チェーン刃が枝に挟まれて取れなくなります。また、下側に切り込みを入れずに上側から枝を切断すると、裂けて仕上がり面が悪くなります。



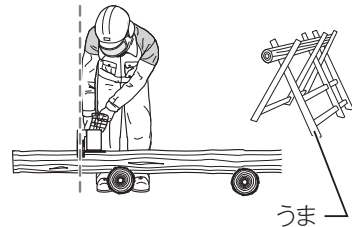
下側からのみの切断

上側からのみの切断

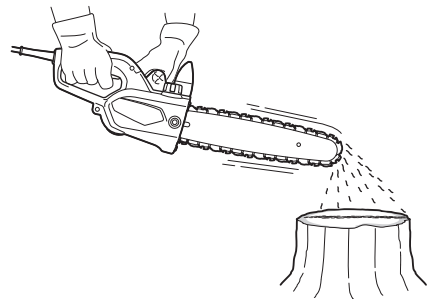
使い方

基本的な作業

1. 回り止めやうまなどを用いて、木材が動かないように固定します。



2. ハンドルを両手でしっかり握り、チェーン刃を木材より離してスイッチを入れてください。
このとき、ガイドバーの先端からチェーンオイルが吐出しているか確認します。



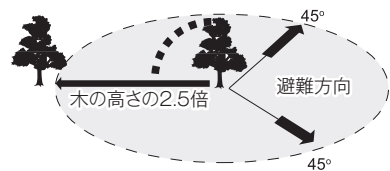
3. ガイドバーの中央部付近を木材に当てて、そのまま真下へ本製品を押し切って切断します。この際、無理に本製品に力を入れないでください。
4. 切断が終わりましたらスイッチを切り、完全に回転が止まるまでお待ちください。

各種の切断作業例

- ・ 伐木作業（立ち木を倒す作業）や造材作業（倒した木を切断する作業）をするときは、伐木などについての講習を受けたり、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所に相談して適切な指導を受けてください。

伐木作業（立ち木を倒す作業）

- (1) 倒す木の傾き、大きな枝の位置、風向きなどを考えて倒す方向、避難する方向を決めます。
- (2) 周囲の障害物を取り除き、足場の安全を確認します。倒す木が斜面にある場合は、必ず山側に安全な足場を確保してください。



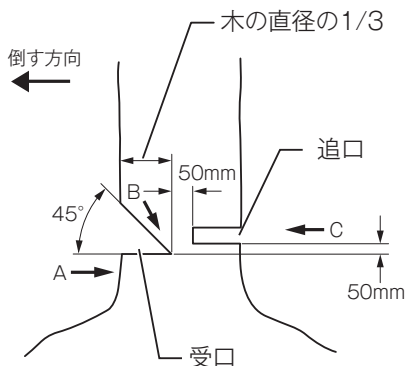
— = 木が倒れる範囲（作業領域）

使い方

(3) 作業中は、木が倒れる範囲（作業領域）内に作業者以外の人や動物などを近づけないでください。

(4) 図のように木を倒す方向に、直径の1/3程度の切り込みをA、Bの順に入れて受口を作ってください。

(5) 受口の水平部より約50mm上部に、受口の水平部と平行に追口Cを切り込んでください。



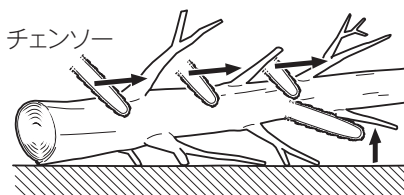
(6) 追口の切り込みが樹心を越えますと木が倒れ始めます。木が倒れ始めましたら、切り口よりチェーンソーを離し、その場にチェーンソーを置いて避難してください。

(7) 木が所定の方向に倒れそうもない場合やチェーン刃、ガイドバーが挟まれたときは作業を中止し、追口にクサビを入れて倒れる方向を矯正したり、チェーン刃、ガイドバーが挟まれないようにしてください。

枝払い作業

(1) 倒した木の枝払いは、まず上部、側面の枝を一方向より切り落としてください。

(2) 幹を支えている大きな枝を残し、地面側の枝を下側より切り落としてください。



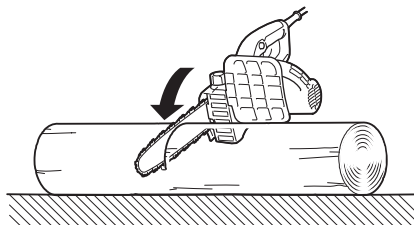
使い方

造材作業（倒した木を切断する作業）

- 丸太の置かれている状態により切断方法が異なります。次のように切断してください。

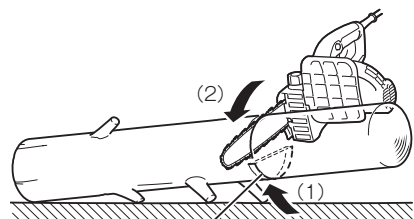
1. 丸太全体が地面に接している場合

- (1) 丸太の上部から切り始め、そのまま真っすぐ切り下げてください。切り終わりにチェーン刃が地面に触れないように注意してください。



2. 丸太の一端が支持されている場合

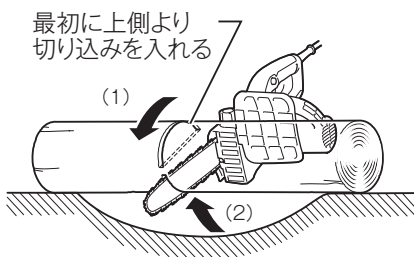
- (1) 最初に丸太の下側より直径の1/3まで切り込んでください。
- (2) 下側から入れた切り込みと一致するように位置を合わせて上部から切断してください。



最初に下側より切り込みを入れる

3. 丸太の両端が支持されている場合

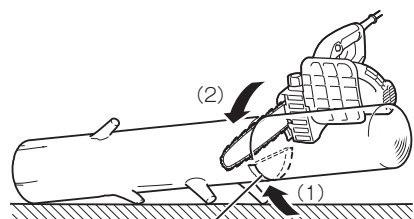
- (1) 最初に丸太の上部より直径の1/3まで切り込んでください。
- (2) 上部から入れた切り込みと一致するように位置を合わせて下側から切断してください。



最初に上側より切り込みを入れる

4. 斜面で丸太を切断する場合

- (1) 最初に丸太がころがって落ちないようにクサビや杭などを用いて丸太を支えてください。
- (2) 山側に立って、1.～3.より適した方法で作業してください。



最初に下側より切り込みを入れる

保守・点検について

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

⚠ 注意

点検・整備の際には必ず手袋をはめて行ってください。

- ・ チェーン刃が手に触れ、けがの原因になります。

上刃および横刃の目立て

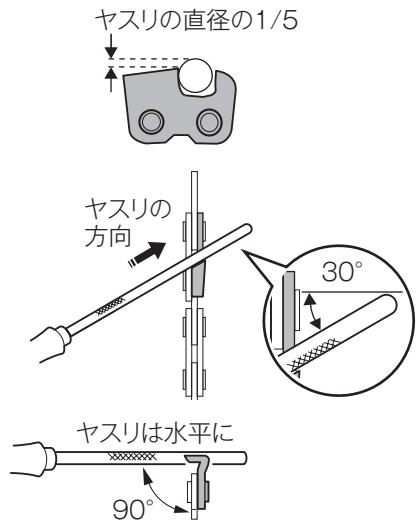
⚠ 警告

チェーン刃は正しく目立てしてください。

- ・ 特にデプスゲージ寸法が大きくなりすぎますと、チェーン刃が切断しやすくなり、けがの原因になります。

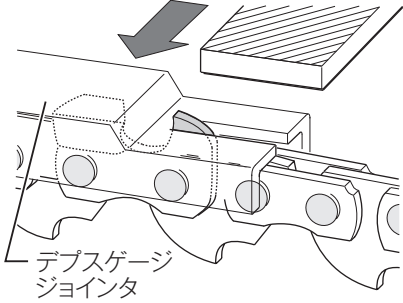


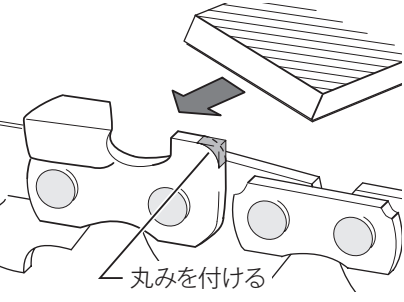
- ・ ガイドバーに対して丸ヤスリを 30° 傾け、丸ヤスリの直径 $1/5$ が上刃より出るようにチェーン刃に当ててください。
- ・ 丸ヤスリの水平を保って、押すときだけヤスリをかけ、手前に引くときは刃部にヤスリを当てないようにして、上刃および横刃の目立てをしてください。



保守・点検について

デプスゲージの調整方法

- ・ デプスゲージはチェーン刃の切り込みしを適正 (0.64 mm) に保つためのものです。
1. 別販売品のデプスゲージジョインタを図のようにセットし、溝から出た部分を平ヤスリで削り落とします。

デプスゲージ
ジョインタ
 2. デプスゲージの角に丸みを付けてください。

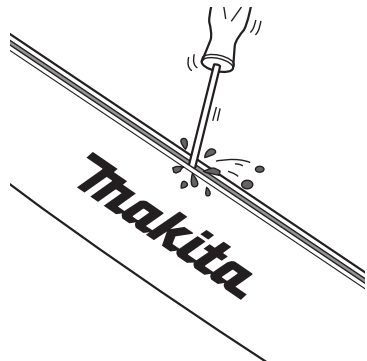
丸みを付ける
 3. デプスゲージの調整が終わりましたら、オイルに浸して切り粉を洗い落としてください。

注

- ・ 刃部の目立てには、外径が 4.5 mm (呼び 11/64") の目立て専用丸ヤスリを、またデプスゲージの目立てには、目立て専用平ヤスリをご使用ください。

ガイドバーの清掃

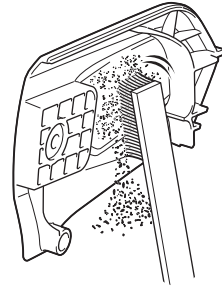
- ・ ご使用中に、切りくずがガイドバーにつまることがあります。切りくずがガイドバーの溝につまると、チェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなります。チェーン刃を目立てや交換するときに、ガイドバーの溝に入った切りくずを除去してください。



保守・点検について

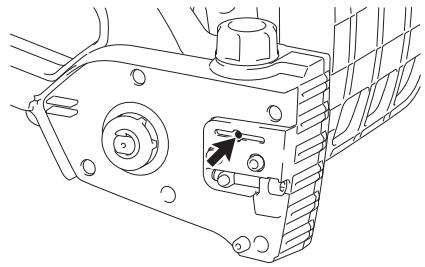
スプロケットカバーの清掃

- ・ スプロケットカバーの内側に、切りくずがたまりやすくなります。負荷が高くなる原因になりますので、ブラシなどで切りくずを除去してください。



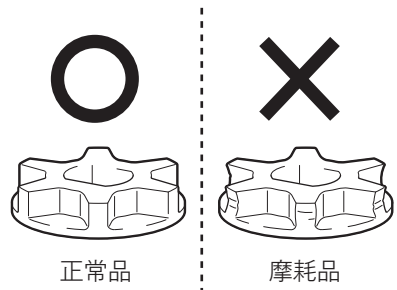
チェーンオイル吐出口の清掃

- ・ ご使用中に細かなゴミがチェーンオイル吐出口につまることがあります。チェーンオイルの吐出量が少なくなり、チェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らず負荷が高くなる原因になります。吐出口のゴミを取り除いてください。



スプロケット摩耗点検

- ・ スプロケットの状態がイラストのように摩耗していないか点検してください。摩耗しているようであれば、お買い上げの販売店、または当社営業所に交換をお申し付けください。



保守・点検について

本製品の保管方法

- ・ スプロケットカバーを取りはずし、本製品に付着した切りくずを除去してください。詳細はスプロケットカバーの清掃の項目（P.29）を参照してください。
- ・ チェーン刃とガイドバーを取り付け、しばらく空転させ、チェーン刃とガイドバーにオイルを付着させてください。
- ・ ガイドバーケースをガイドバーにかぶせてください。
- ・ オイルタンク内のオイルを抜いてタンク内を空にして、タンクキャップが上側になるように本製品を置いて保管してください。

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881A92E2
IWT

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)